

仙台市若林障害者福祉センター

障害者福祉「キャップハンディ体験」教室を開催しました

令和元年7月11日

仙台市若林障害者福祉センター

去る令和元年7月11日（木）、仙台市立沖野小学校体育館にて、障害者福祉「キャップハンディ体験」教室を開催しました。

沖野小学校4年生68名の児童に対して、白杖歩行と視覚障害者を介助する体験を行いました。講師としてT様（自立訓練卒業者の視覚障害者）にご協力頂きました。

また知的障害に対する理解を深めてもらうために若林センター生活介護事業利用者様とスタッフの方にもご協力頂き、スライドを使って普段の生活の様子や生活の中で工夫していることなどをご紹介頂きました。今回はボタン一つで扇風機などが動かせるような道具も教えて頂きました。

体験後、児童たちからは「盲導犬をつれてもお店に入れるんですか」、「家での生活はどうやってるんですか」などの質問がありました。また「目が見えない人を介助することがこんなに大変なことだとは思わなかった」、生活介護事業利用者様に対しては、「生活を助けてくれる道具を知れて良かった」などの感想が聞かれました。

今回の体験教室を通して、児童たちにとって障害理解の促進と豊かな感性を育むよい時間となったと思われました。

